

奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校中期計画（定時制課程）

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		少人数での学習を通して、工業や商業の専門分野に関する知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 他者への思いやりの心を持ち、多様な仲間とともに学校生活を送りたい生徒 2 日々の授業を大切に、部活動や生徒会活動、学校行事にも積極的に取り組む意欲のある生徒 3 工業や商業に興味を持ち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の実態に合わせて教材を精選し、基礎学力を定着させ、真剣に学習に取り組む意欲と態度を育てます。 2 工業や商業に関する専門性を高め、実社会で通用する資質・能力の習得を図ります。 3 少人数のメリットを生かし、実習や資格試験ではマンツーマンに近い形で丁寧に指導します。 4 学校行事や生徒会活動を通して、共に成長できる環境づくりに努めます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と協働し、互いに理解し、共に支え合うことを大切に行動できる。 2 社会に必要なルールやマナーを身に付け、地域社会や職場から信頼される。 3 基礎的・基本的な知識や技術を修得し幅広い分野で活躍することができる。 4 自分で課題を見つけ、それを解決し、将来にわたって学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基本的な生活習慣の確立	・年間遅刻回数の減少（前年度比－5%） ・進んで挨拶しようとする生徒の割合90%以上
	運動に対する意識の向上	・体育の授業に意欲的に取り組む生徒の割合95%以上 ・運動が好きな生徒または定期的な運動習慣のある生徒の割合80%以上
	望ましい食習慣の確立	・食生活の大切さを理解している生徒の割合80%以上 ・一日規則正しく3食食べる生徒の割合80%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業で興味・関心が高まると感じている生徒90%以上
	I C Tを活用した教育の推進	・I C Tを活用した授業ができる教員の割合90%以上 ・I C Tを活用して学習できると感じている生徒の割合90%以上
	交通安全・防犯・防災教育の推進	年間2回以上講演会や訓練等を実施
	教員の働き方改革	1ヶ月の超過勤務時間45時間以上の職員0人
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップ等の就労体験の充実	インターンシップをはじめ、在学中に就労を体験する生徒の割合80%以上
	キャリア教育の推進	キャリアパスポートの活用率の向上
	進路実現に向けた取組の推進	・進路に関する講演会等を年間3回以上開催 ・学校が進路実現を積極的に支援してくれると感じている生徒の割合95%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習成果の蓄積
	地域との連携・協働の推進	コミュニティスクールの積極的な運営 地域の幼稚園や保育園等との交流活動等を年間2回以上実施
	地域に貢献する人材の育成	通学路及び学校周辺の清掃活動等を年間3回以上実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	一人一人の個性を認め合う生徒の育成	一人一人の個性を尊重することが大切であると感じる生徒の割合90%以上
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	学校は安心して居心地良く過ごせる場所であると感じている生徒の割合90%以上 いじめのアンケート等を年間2回以上実施
	人権教育の推進	「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会を年間1回以上、職員研修を年間1回以上開催
	特別支援教育の推進	・支援が必要な生徒の情報共有の機会年3回以上 ・支援が必要な生徒全員の個別の支援計画作成